

# キャンパスカレンダー Campus Calendar

慶應義塾大学の各キャンパスでは、全学規模の学園祭からアットホームな催しまで、1年を通して様々なイベントが開催されます。どんなイベントがあるか、ここで紹介しましょう。(社会情勢により、開催形態の変更や中止となる場合があります)

## 入学式

ついに始まるキャンパスライフ。これからの大学生活に思いを馳せる新入生で、会場は華やかな雰囲気になります。



## 留学フェア(日吉)

留学のメリットや楽しさを、留学体験者や協定校からの学生による生の声を通して発信するイベントです。現地での生活など、具体的な話を聞くことができます。また、早くから準備をできるように、毎年6月に開催しています。



## 三田祭

毎年11月中旬に三田キャンパスで開催される三田祭。学生が自らの手で企画運営している日本最大規模の学園祭です。学術的な企画が充実し、研究会や学生団体は、日頃の成果を発表します。毎年多くの来場者で賑わいます。



イチョウ並木(日吉)

## 卒業式

慶應義塾大学での4年間を締めくくる特別な日。今後は、4年間の学びで身につけた力を社会の様々なフィールドで発揮していきます。



4 April



新入生歓迎行事(日吉)



自由に弾けるグランドピアノ(矢上)

7 July



## 理工学部ソフトボール大会

矢上キャンパスの伝統ある研究室対抗のソフトボール大会。教員も交じってのゲームは、和気あいあいとした雰囲気で行われます。

8 August



## 矢上祭

最先端の大学の研究や科学技術を見て、触って、体感できるイベントが盛りだくさん。特に理工学部の先端科学を紹介する研究室ツアーの企画は、とても人気が高く大勢の方が参加します。



10 October

11 November

12 December

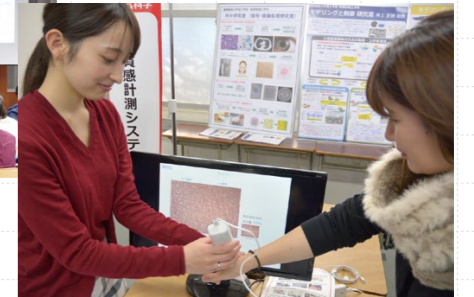
1 January

2 February

3 March

## 学科分け説明会

学科分け説明会では講義形式による説明だけではなく、教育・研究内容の展示や研究室ツアーを通して各学科の魅力を知り、第2学年から所属する学科の選択に役立ちます。



## Club&Circle ~クラブ・サークル~

慶應義塾大学では、数多くのクラブ・サークル団体が、学術・文化・スポーツなどの分野で活動しています。勉強が忙しい理工学部生のライフスタイルに合わせたクラブや、理工学部の施設を生かしたクラブなど、理工学部独自のクラブも豊富です。学部や学年の枠を超えて繰り広げられる熱いチャレンジは仲間との絆を深め、かけがえのない経験になるでしょう。

### 主なクラブ・サークル(矢上キャンパスを拠点としているもの)

#### 理工学部体育会(慶應義塾体育会矢上部)

- アメリカンフットボール部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 山岳部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- 卓球部
- 軟式庭球部
- 軟式野球部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- ラグビー部
- 合気道部

#### その他

- 無線工学研究会
- ロボット技術研究会
- 鉄道研究会(理工学部)
- Computer Society
- 日本国際学生技術研修協会
- 矢上祭実行委員会
- 理工学部卒業アルバム委員会
- 理工学部体育会連盟
- 理工学部学生団体ルーム運営委員会
- 理工学部クランド運営委員会
- 理工学部ソフトボール実行委員会
- 理工学部体育館運営委員会
- 理工学部テニスコート運営委員会

この他にも、各キャンパスを拠点とした数多くのクラブ・サークルがあり、学部を問わず所属できます。

## TOPIC 早慶戦



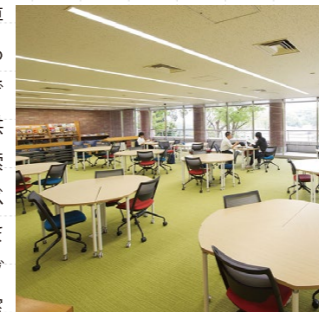
毎年春と秋に行われる東京六大学野球の早慶戦は、1903年から行われている伝統の一戦。単純な勝敗だけでなく、学生・卒業生・教職員が一体となって繰り広げる応援を通し、慶應義塾の一員としての連帯感も強まるイベントです。

## 好奇心を育てるフィールド

慶應義塾大学理工学部では、様々なセミナーや講演会を実施し、学生の学びをソフト・ハード両面からサポートしています。

### 理工学メディアセンター(松下記念図書館)

矢上キャンパスにある理工学分野の専門図書館です。国内有数の規模を誇る蔵書や、自宅や研究室からもアクセスできる電子ジャーナル・電子ブックを提供しています。毎年開催している文献探索セミナーやサイエンスカフェなどのイベントは、活気ある学びの場を生み出します。また、壁一面がホワイトボードのグループ学習室、夜間も利用できる自習室などの多彩なスペースを提供し、学習面の支援も行っています。



### 人間教育講座

講師の体験・生き方・信条に触れることにより「社会の中でどう生きるか」を皆で考えるという趣旨のもと、社会の様々な分野で活躍しておられる方々をお招きしたイブニング・セミナー(講演と質疑)を春・秋学期数回ずつ開催。これまでノーベル賞受賞者の小柴昌俊氏、利根川進氏、白川英樹氏、中村修二氏、宇宙飛行士の星出彰彦氏、歌手の一青窈氏をはじめとして、学界・産業界・芸術界などの多彩な顔ぶれによる講演が行われています。

